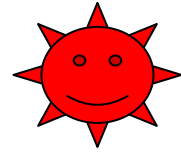


話！輪！和！

# とくぢのわの会だより



\* とくぢのわの会レポート 今回の担当は徳地づくり達人塾でした！

平成18年2月27日（月）13時～15時 南大門2階研修室

参加者30名（達人塾9名、各地域振興協議会9名、観光協会7名、その他5名）

このたび、徳地づくり達人塾の呼びかけで、地域で頑張っている皆さんと一緒に、九州で大変繁盛している道の駅「豊前おこしかけ」の駅長さんである白石道雄さんをお招きして、勉強会を開催しました。トイレへのこだわりから、全国でも人気の道の駅に成長するまでの物語に、参加された皆さんはメモを取りながら熱心に耳を傾けていました。大変和やかな、充実した会となり、参加者からは、大変に良い勉強の機会だったという声が交わされていました。

## 豊前おこしかけ道の駅繁盛記 白石駅長さんのお話

### ☞ 「おこしかけ」という名前の由来

宇佐神宮の3柱のご神体のひとつが神功(じんぐう)皇后なのですが、朝鮮出陣の時にこしかけられた石が残っていて、それを「おこしかけ」といいます。地名が変わって、いまでは松江2区とかいう味のない名前になっていますが、古いものを大事にしたいという思いがありました。お客さんが「これはどういう意味ですか」と尋ねられるだろうと、考えたんです。この狙いは当たりました。豊前道の駅とかいうありきたりの名前にしなくてよかったです。

### ☞ 「日本一のトイレ」計画から

豊前市には、トイレのTOTOと、大分製紙の工場があり、それに注目して「日本一のトイレ」を造ろうという計画が平成3年に始まりました。日本一のトイレ構想も、なかなか理解が得られなかったので、地域づくりの一環なのだとことを強調し、ハードではかならず古くなりますから、「日本一おもしろいのあるトイレ」というソフトで勝負することにしました。トイレは道の駅のと真ん中において、やさしさを表現。トイレの屋根はテントを張っています。これだと日中は照明がいらないし隙間から空気が流通する。流す水以外には、化石燃料を使わないという環境への配慮です。トイレの清掃にも力を入れています。青年会議所のメンバーが「ぼくもやりますよ、地域の人も手伝ってくれるでしょう」と言っていました。実際には難しく、今は毎日6時間おばさんに働いてもらっています。ゼンリンさんのアンケートで、全国870の駅の内全国6位の人気ある道の駅になりました。上位の理由は温泉や美しい夕日などの景観ですが、うちはトイレなんですよ。トイレが人気なんて、うちだけです。

### ☞ 独自のトイレをつくるための金策と綿密な予測

12時間で約1万6000台の車が通る。観光バスも含めて1台につき2人乗っていると試算しました。立寄り率は、九州北部では大体8%というデータがあったので、それで計算すると年間に94万人ぐらいの客が立ち寄るだろう、と。来客の3分の1が買物、一人1000円使うとすると、年間売り上げが3億円、手数料は一般の野菜や食べ物15%、賞味期限があるものは20%。これで4800万円稼げるはず。でもこれではパート6人と専業3人を雇えばぎりぎり。しかし、ふたを開けてみると1年目は3億9800万の売り上げに！お客さんが予想よりも入ってくれたんです。…屋台村家賃、自販機手数料、対面販売場所代、物産館の委託販売手数料…物売ることに頼らずに、いかにその他で稼ぐかを考えられるといいと思います。…税金も納めています。建物の耐用に対する積み立てが課題、PFI方式が取り入れられないか、検討中です。

### ☞ 売れ筋は高級弁当

鉄道に名物の駅弁があるように、道の駅弁があってもいい。従来は、漁師・農家・旅館のおやじさんが作っている350円程度のものでした。これを道の駅弁として認定されるために、みがきをかけよう、地域の特色を、ということで一昨年から始めました。「安くておいしい」に加え、「高いけれど、これなら納得」というものを狙ったところ、これが当たったんです。弁当は一年間に7500万円狙えると思います。豊前には山があり、平野があり海がある。それぞれの場所から1品とってくれば誰でもお弁当ができるでしょう。弁当を作り始めて、腕はいいが、中心街で力をそがれていた人たちが元気を取り戻しているんです。

### ☞ 流した汗が報われる米づくりの里

もう一つお米に力を入れているんです。25軒の轟(とどろ)という棚田の集落があります。JAさんは「夢つくし1等米」なら差をつけられない。でも海辺と山では我々は差をつけます。それができます。そして、ただお米を売るだけでなく、消費者を招いて交流会をします。「轟」そのものをブランド化したいと思っています。汗をかいた対価が正当に評価されるようにならないと、地域はほんとうには元気にならないですね。それぞれの場所の特色を打ち出しながら進めていきたいと思っています。僕は今年70歳なんです。信用されませんが(笑)。団塊の世代が野菜を作ってそれを買い取れるような仕組みにしたいと思っています。仲間を作ってやろう、という取り組みです。生き甲斐のある町を道の駅から情報発信していこうということです。

### ☞ 原点を大切に更なる挑戦を

豊前は東九州自動車道ができると、また素通りになって客が来なくなるんじゃないか、というのが今度の心配です。実は反対したいんですが、一周道路は九州に必要です。受け入れながら、どうやって生き残るかを考えなければいけません。地域の食文化をどうアピールするか。交流から対流へのしかけをつくっていく。地域の情報を集める。今年からは、神楽を道の駅で上演しようと思っています。物売るだけではなくて、地域の歴史や伝統をアピールしてやっていきたい。総合的に努力して、トイレの良さに負けないような道の駅にしたいと思っています。

### ☞ 質疑応答・意見交換

約30分、参加者の方から活発な質疑応答や意見交換がありました。とても充実した会となりました！

# \* とくぢのわの会 参加者アンケート結果 \*

17名の方に回答頂きました

あなたの性別は？

男性・・・7名

女性・・・10名

あなたの年代は？

20代・・・1名 30代・・・0名 40代・・・1名

50代・・・5名 60代以上・・・10名

あなたはどちらの団体からの参加者ですか？（複数回答有）

徳地づくり達人塾・・・8名 地域振興協議会・・・6名 徳地観光協会・・・1名

その他・・・5名

今日、この勉強会に参加して  
よかったですか？

はい・・・17名 いいえ・・・0名

このような共同の勉強会は今後も  
行われると良いと思いますか？

はい・・・17名 いいえ・・・0名

お話の中で特に印象に残った点があれば、お書きください。

- ・売り上げ1番はやっぱり野菜なのだなと思った。人を集める事の試行がすごいなと思った。(50代女性)
- ・お話を聞いてすごく努力されているのだなと思いました。(50代女性)
- ・日本一のトイレ作りからできた道の駅、感動しました。(60代以上女性)
- ・弁当、トイレ、お米のお話(60代以上女性)
- ・日本一のトイレ作りから始まったということがすばらしいと思った。・売り上げの多さ、車のとおりが多いこと、お米が高く売れること。(60代以上女性)
- ・地域活性化として、一つの谷単位で事業化されていること。(60代以上 男性)
- ・民間運営で頑張っておられるところに感動しました。自分たちも温泉を復活させようと思っているのでとても元気づけられました。(50代女性)
- ・地域の食文化、伝統文化を伝えるというお話、米の生産者との交流会を開くという所に魅かれました。(20代女性)
- ・体系的に地に足のついた取り組みをされている。・大きいお金を集め、動員力がすごい。(60代以上男性)
- ・一つのこと(トイレ)にこだわって未来が開けた。・一つでもインチキがあればくずれる。(50代男性)
- ・人にやさしい、人情味を感じた経営のお話でした。(60代以上女性)
- ・谷ごとに特産品などのイメージづくり(40代男性)
- ・駅長さんのお人柄と企画力、先見性に感銘を受けました。(60代以上男性)
- ・お米のブランド化、交流から対流が生まれること。目のつけどころがいいのだと思った。(50代女性)
- ・トイレのPR効果(日本一のトイレ)と周辺経済効果、苦勞された裏話(借入金、出資など)(60代以上男性)

その他、ご意見やご感想

- ・徳地づくりをするために色々な方の意見参加があればいいと思いました。楽しかったし勉強になった。(50代女性)
- ・私たちの取り組みにおいても色々参考させていただきたいことが沢山ありました。(60代以上女性)
- ・よくぞここまで、というくらい教えてもらえました。(50代男性)
- ・商品のネーミングなど、ある種の遊び心も必要であると思いました。(60代以上 男性)
- ・道の駅の会員制は参考になった。南大門でも採用すれば？(60代以上男性)

この便りについてのお問い合わせは・・・

山口市徳地総合支所総務課内徳地づくり達人塾事務局 0835-52-1112